

「ドキドキしたひ」

鹿児島市立松元小学校一年

濱村 はまむら

奏佑 そうすけ

「ええ・・・！うそでしょう？」

おかあさんが、おどろいたかおでしばらくのあいだかたまっていました。

かぞくみんなできをつけて、おにいちゃん
の三かげつご、またそのあとのけんさもずつ
とよいけつかがでることをねがいたいです。

はなしをきいてみると、ちゅうがくせいのおぼくのおにいちゃんが、がつこうけんによる一かいめのけんさでひっかかり、二かいめのけんさをうけましたが、またけっかがわるく、三かいめのくわしいけんさをうけるようにながつこうからおてがみをもらってきたようです。

ごじつ、三かいめのけんさをうけて、けっかはおおきなびようきではないことがわかりました。

ぼくはだいすきなおにいちゃんがびようきだったらどうしよう・・・とドキドキしていたのでホツとしました。しかし、これからも三かげつおきにけんさをうけて、びようきになつていないかかくにんしなければならぬようです。

おにいちゃんは、しょうがつこう三ねんせい
いときからやきゆうをしていて、ひといち
ばいげんきだとおもっていました。しあいの
ときはそのおべんとうをたべることがお
おかつたので、えんぶんをおおくとりすぎた
のかもしれません。

そのことがあつてから、おかあさんはうす
めのあじつけにきをつけてりょうりをつくり、
すいぶんもしつかりとるようにうるさくなり
ました。